

A simple protein-energy wasting score for survival prediction of maintenance hemodialysis patients

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小林, 園実 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00023884

主論文の要旨

A simple protein-energy wasting score for survival prediction of maintenance hemodialysis patients

(維持血液透析患者の生存予測のための PEW スコア)

東京女子医科大学 内科学 (第四) 教室

(指導: 新田 孝作教授)

小林 園実

Renal Replacement Therapy 1:1, 2015 Published online

DOI 10.1186/s41100-015-0012-0

【要旨】

本研究の目的は、維持血液透析患者において、栄養状態評価の protein energy wasting (PEW) スコアは生命予後を予測できるかを検討することである。

悪性腫瘍、活動性の炎症疾患、肝硬変、消化管出血および重度な疾患を除外し、週 3 回 6 ヶ月間以上の血液透析を施行している 254 人の患者を対象とし、以下の PEW スコア分類別に、3 年間の観察期間における総死亡率を比較した。

PEW スコアは、血清アルブミン値、体格指数 (BMI)、体表面積により補正された血清クレアチニン (SCr/BSA) 値、補正された標準化蛋白異化率 (nPCR) の 4 つの項目からスコア化し、4 つのグループ群に分類した (重度; スコア 0-1, 中等度; スコア 2, 軽度; スコア 3, 標準; スコア 4)。

36 か月の追跡期間で、26 人の患者が死亡し、8 人の患者が心血管イベントで死亡した。重度の栄養障害グループである PEW スコア 0-1 群は、他の PEW スコア 2-4 群より生存率が有意に低かった ($P < 0.0001$)。

本研究により、PEW スコアが維持血液透析患者における生命予後の予測に有用であることが判明した。